

入学者選抜関係日程

選抜方法	募集学部/学科	資格審査期間(注)	出願期間	試験日程	合格発表	入学手続期間
帰国子女 特別選抜	外国語学部 英米学科 ロシア学科 中国学科 イスパニア学科 国際関係学科	2017年 9月1日(金) ～ 9月12日(火)		2017年 11月25日(土)		
外国人留学生 特別選抜						
社会人 特別選抜	外国語学部第2部 英米学科			2017年 11月25日(土) 11月26日(日)		
推薦入試 【全国枠】	外国語学部 英米学科 ロシア学科 中国学科 イスパニア学科 国際関係学科		2017年 11月1日(水) ～ 11月10日(金)		2017年 12月1日(金)	2017年 12月11日(月)
推薦入試 【神戸市内枠】	外国語学部 英米学科 ロシア学科 中国学科 イスパニア学科 国際関係学科 外国語学部第2部 英米学科			2017年 11月25日(土)		
一般入試 (前期日程)	外国語学部 英米学科 ロシア学科 中国学科 イスパニア学科 国際関係学科 外国語学部第2部 英米学科			2018年 2月25日(日)	2018年 3月6日(火)	2018年 3月14日(水) 3月15日(木)
一般入試 (後期日程)	外国語学部 英米学科 ロシア学科 中国学科 イスパニア学科 国際関係学科 外国語学部第2部 英米学科		2018年 1月22日(月) ～ 1月31日(水)		2018年 3月12日(月)	2018年 3月20日(火) 3月26日(月)

(注)「帰国子女特別選抜」「外国人留学生特別選抜」出願志願者は、資格審査期間内に申請をしなかった場合は出願できません。

1 アドミッション・ポリシー

(1) 求める学生像

神戸市外国語大学は、国際的な知識と柔軟な判断力を持った「行動する国際人」の育成を目指しています。また、この教育理念に基づきディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーを策定しています。

このディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーに掲げる目標を達成するために、神戸市外国語大学は、本学の教育理念に共鳴するとともに、本学での学びを通じて、外国や自国の言語・文化・社会への関心をさらに高め、これからの国際人にふさわしい視野の広さ・専門的知識・対話能力の獲得を積極的に目指す学生を求めます。

(2) 求める学力

神戸市外国語大学は、このような学生が学習や研究を進めてその可能性を開花させるために、以下の学力と資質を持ち、また、その学力を入学後に発展させてゆく意欲にあふれる人を求めます。

- ①外国や自国の言語、文化および社会に関する本学での学びの基礎となる、知識や技能
- ②自ら課題を見出し、その解決に向けて多角的に探究し、その結果を的確に伝えることができる力
- ③多様な考えを持つ人々が共存する現代の社会において、自ら積極的に他者と対話し協働して学ぶ態度

(3) 入学者の選抜方法

神戸市外国語大学は、以上の学力を多角的に測るための入学試験を行っています。受験生のさまざまな関心や資質、あるいは背景や経験を考慮した多様な入学者選抜を実施しています。

①一般入試

一般入試前期日程では、大学入試センター試験の成績、個別学力検査（リスニングテストを含む英語の筆記試験）の成績および調査書の審査の結果を総合して入学者を選考しています。

一般入試後期日程では、大学入試センター試験の成績、個別学力検査（小論文）の成績および調査書の審査の結果を総合して入学者を選考しています。また、大学入試センター試験・個別学力検査の科目および配点を前期日程とは変更し、多様な関心や資質を持つ学生を受け入れています。

②推薦入試等の特別選抜

神戸市外国語大学は、一般入試とは別に、推薦入試（全国枠）、推薦入試（神戸市内枠）、帰国子女特別選抜、外国人留学生特別選抜、社会人特別選抜を実施しています。多様な背景と経験を持つ学生を積極的に受け入れるために、一般入試とは異なる方法でそれぞれ入学者を選考しています。

推薦入試（全国枠・神戸市内枠）では、学力検査（英語）、小論文（日本語）および面接の成績結果、ならびに推薦書、調査書等の内容を総合的に判断して入学者を選考しています。なお、推薦入試（全国枠）では、英語の外部試験で一定の成績を修めていることが出願要件の一つになっています。

帰国子女特別選抜、外国人留学生特別選抜では、学力試験（英語）、小論文（日本語）、成績証明書、志願理由書および面接の結果を総合的に判断して入学者を選考しています。

社会人特別選抜では、学力試験（英語）、小論文（日本語）、志願理由書および面接の結果を総合的に判断して入学者を選考しています。

本学の入試においては、それぞれの選抜方法を通じて、受験生が基礎的な知識や技能を身につけているか、思考力・判断力・表現力を培ってきているか、他者と対話し協働して学ぶ態度を身につけているか、そして、これらの力を大学入学後に発展させてゆく意欲を持っているかを、多角的に判断します。

また、いずれの入学試験においても、募集および選抜は学科を単位として厳正に行っています。

以上のポリシーに基づいて、各学科では次のような学生を求めます。

①英米学科

国際化社会における英語の地位は今日ますます高まっています。また、英語の母体であるイギリス・アメリカ等の文化・社会は私達の知的関心を強く惹いて止みません。英米学科では、まず高度な英語の運用能力を養成しながら、英語圏の言語・文学・文化・社会に関する専門知識の習得を目指します。また、英米に限らず国際社会における異文化間の理解・コミュニケーションに必要な視点・スキルを身につけると同時に、異文化に対する理解を深めることで、自分たちの文化を新たな視点からとらえ直すことのできる人材を育成します。さらに少人数のゼミでは、専門分野のテーマについて研究し、論文にまとめ、発表する能力を育成するための指導を行います。

そのため、以下のような学生を求めます。

1. 英語圏を含め、さまざまな言語・文学・文化・社会に対する興味を抱いている人。
2. 相手の考えを正確に理解し、自分の考えを的確に伝える努力を、日本語でも英語でもできる人。
3. 知的な好奇心と探究心を持っている人。

②ロシア学科

ロシア語を読み、書き、話すという基本的な運用能力を習得できるように、ロシア語圏の文化への理解を踏まえた上で、実践的な言語教育を行います。また、話し言葉と書き言葉のスタイルの違いを常に意識し、それぞれの要素を効果的に使って、自分の意見を表現する力を養成します。

そのため、以下のような学生を求めます。

1. ロシアおよび旧ソ連地域の言語・文化・歴史に興味のある人。
2. 外国語を使用するときに、間違えることを恐れない大胆さと、その言語を正確に理解しようとする几帳面さの両方を備えた人。
3. 世界には多様な価値観が存在することを認め、新しい習慣、異質な習慣を拒絶するのではなく、冷静に観察して受け入れることができる人。

③中国学科

「使える」中国語を教育目標の第一に置き、「読む・書く・聴く・話す」の実用的訓練を重視して、高度な中国語運用能力を習得することを目指します。さらに言語学・文学・歴史学・社会学・文化人類学・政治学・経済学といった専門的知識を豊富にしながら、各自の興味に応じた研究課題を設定・考察し、その過程で、課題探究能力、論理的思考能力を向上させ、グローバルな視野に立った国際的スペシャリストを養成することを目標とします。

そのため、以下のような学生を求めます。

1. 中国の言語、文学、文化、社会などに強い興味を持っている人。
2. 粘り強く学習し、自ら問題点を見つけて分析・解決することができる人。
3. 将来、大学で習得した専門知識を活かして社会で活躍しようと考えている人。

④イスパニア学科

イスパニア学科では、スペイン語（イスパニア語）の高度な運用能力を身につけることを目指します。スペイン語は、スペインとラテンアメリカの多くの国で話されているために、その背後に広がる多様な文化を理解することが必要です。このため、高い語学力と同時にスペイン語圏の文化・社会・文学・歴史・経済などを学び、深い知識と広い視野を持つ人材の育成を目指しています。

そのため、以下のような学生を求めます。

1. スペインとラテンアメリカに関心があり、さらには異文化に関心がある人。
2. 積極的に問題に取り組み、粘り強く解決しようとし、くじけない精神力を持っている人。
3. 旺盛な知的好奇心と積極的な行動力を持っている人。

⑤国際関係学科

国際関係学科では、国際社会の動きを幅広い視点からとらえ、国境を越えて広がる複雑多岐な課題に柔軟に対応する能力を養い、異文化理解を深めるために、英語を中心とする外国語の修得とともに、法律・政治、経済・経営、社会・文化などの多様な専門領域についても広く学びます。

そのため、以下のような学生を求めます。

1. 英語を中心とする複数の外国語を活用して国際舞台で働きたい人。
2. 平和、人権、社会経済発展といった地球的課題に積極的に取り組みたい人。
3. 国際問題や文化摩擦などに関わる専門家や研究者を目指す人。

⑥第2部英米学科

第2部英米学科では、学部の英米学科と同様に、高度な英語の運用能力を養成しながら、英語圏の言語・文学・文化・社会に関する専門知識の習得を目指します。また、国際社会におけるコミュニケーションに必要な視点・スキルを身につけると同時に、異文化に対する理解を深めることで、自分たちの文化を新たな視点からとらえ直すことのできる人材を育成します。少数教育を生かしたゼミでは、専門分野のテーマについて研究し、論文にまとめ、発表する能力を育成するための指導を行います。さらに、第2部英米学科には、すでにさまざまな形で社会で活躍されている皆さんを対象に社会人特別選抜枠が設けられており、その社会人としての経験を生かして、さらなる能力の向上を目指します。

そのため、以下のような学生を求めます。

1. 英語圏を含め、さまざまな言語・文学・文化・社会に対する興味を抱いている人。
2. 相手の考えを正確に理解し、自分の考えを的確に伝える努力を、日本語でも英語でもできる人。
3. 勤労と学業を両立させる強い意思を持っている人。

(注) なお、本学ホームページ (<http://www.kobe-cufs.ac.jp>) にディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを掲載していますので、ご参照ください。

2 募集人員

	英 米	ロシア	中 国	イスパニア	国際関係	第2部英米	合 計
定 員	140	40	50	40	80	80	430
一般入試(前期日程)	98	28	35	28	56	41	286
一般入試(後期日程)	28	8	10	8	16	15	85
推薦入試【全国枠】	7	2	2	2	4	—	17
推薦入試【神戸市内枠】	7	2	3	2	4	4	22
社会人特別選抜	—	—	—	—	—	20	20

(注) 帰国子女特別選抜若干名、外国人留学生特別選抜若干名を含む(学部各学科)。

3 出 願 資 格

次の各号のいずれかに該当し、かつ平成 30 年度(2018 年度)大学入学者選抜大学入試センター試験で、本学が指定した教科・科目を受験した者。

ただし、推薦入試及び特別選抜入試の出願資格については、8～12 ページをご覧ください。

- (1) 高等学校(中等教育学校〔後期課程〕を含む)を卒業した者、又は 2018 年 3 月卒業見込みの者。
 - (2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者、又は 2018 年 3 月修了見込みの者。
 - (3) 外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者、又は 2018 年 3 月 31 日までに修了見込みの者、若しくはこれに準ずる者で文部科学大臣が指定した者。
 - (4) 文部科学大臣が高等学校の課程に相当する課程を有するものとして指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、又は 2018 年 3 月 31 日までに修了見込みの者。
 - (5) 専修学校の高等課程(修業年限が 3 年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者、又は 2018 年 3 月 31 日までに修了見込みの者。
 - (6) 文部科学大臣の指定した者。
 - (7) 高等学校卒業程度認定試験規則により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者、又は 2018 年 3 月 31 日までに合格見込みの者で、2018 年 3 月 31 日までに年齢満 18 歳に達する者。
 - (8) 廃止前の大学入学資格検定規程により文部科学大臣の行う大学入学資格検定に合格した者。
 - (9) 本学が高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2018 年 3 月 31 日までに年齢満 18 歳に達する者。
- (注: 出願資格(9)により出願しようとする者は、事前に本学と協議すること)

4 受験上特別な配慮を必要とする入学志願者について

受験上及び修学上特別な配慮を必要とする者(次表参照)は、出願前にあらかじめ本学に申し出てください。なお、申請の内容によっては、本学の試験日までに対応できず、特別措置が講じられないこともあるので、なるべく早く申し出てください。特に、体幹及び両上下肢の機能障害が著しい者等で、代筆解答を希望する者は、**大学入試センター試験出願以前**のできるだけ早い時期に、本学に申し出てください。

「診断書」や「申請書(出身学校が作成。障害の種類・程度、受験上・修学上特別の措置を希望する事項等を記載したもの)」の提出により、本学でその内容を審査の上、それぞれの障害の種類・程度に応じた受験上の配慮を決定します。

また、必要な場合は、本学において志願者又は出身学校関係者等との面談等を行います。

- (1) 相談の時期 【特別選抜・・・2017 年 10 月 4 日(水)まで】
【一般選抜・・・2018 年 1 月 5 日(金)まで】

- (2) 連絡先 神戸市外国語大学 学生支援・教育グループ 教務入試班 TEL : 078-794-8134

区分	対象となる者
視覚障害	・点字による教育を受けている者 ・良い方の目の矯正視力が0.15以下の者 ・両眼による視野について視能率による損失率が90%以上の者
聴覚障害	・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者
肢体不自由	・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上下肢の機能障害が著しい者
病弱	・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者、又はこれに準ずる者
その他	上記以外の者で受験上の配慮を必要とする者

※日常生活において、ごく普通に使用している補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、特別措置として申請してください。

5 入学者選抜方法等(一般選抜)

大学入試センター試験の成績(平成30年度分)、個別学力検査の成績及び調査書の審査の結果を総合して、合格者を決定します。

【出願期間】2018年1月22日(月)から1月31日(水)消印有効

【試験日】《前期日程》2018年2月25日(日) 《後期日程》2018年3月12日(月)

【試験場】神戸市外国語大学

(1)個別学力検査の教科・科目

区分	教科	科目
前期	『外国語』	「英語」(コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ、英語表現Ⅰ、英語表現Ⅱ) ※リスニングテストを含む。 【試験時間 120分】
後期	『小論文』	「小論文」 ※解答は日本語による。 【試験時間 120分】

(2)大学入試センター試験及び個別学力検査の配点等

区分	学部・学科	大学入試センター試験						個別学力検査		合計
		国語	外国語	地理歴史	公民	数学	理科	英語	小論文	
前期	外国語学部 英米学科 ロシア学科 中国学科 イスパニア学科 国際関係学科 外国語学部第2部 英米学科	100 (※1)	100 (※2)	100		100		200	—	600
後期	外国語学部 英米学科 ロシア学科 中国学科 イスパニア学科 国際関係学科 外国語学部第2部 英米学科	100 (※1)	200 (※2)	2科目または3科目				—	100	600

※1.『国語』については、センター試験の素点200点を前期・後期とも100点に換算した配点とします。

※2.『外国語』の科目で「英語」を指定(英米学科・国際関係学科・第2部英米学科の志望者は必須科目)した場合、センター試験の素点250点(筆記試験200点+リスニングテスト50点)を前期は100点、後期は200点に換算した配点とします。また、「英語」以外の科目(「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」)については、センター試験の素点200点を前期は100点に換算した配点とし、後期は素点200点をそのまま配点とします。

(3)大学入試センター試験の受験を要する教科・科目等

①前期日程【4教科4科目 / 4教科5科目】

教科	科目	受験科目数・受験科目の選択方法等
『国語』	「国語」	【必須】
『外国語』	「英語」(リスニング含む)	【1科目】 ※英米学科・国際関係学科・第2部英米学科は、「英語」(リスニング含む)を必須科目とする。 ※ロシア学科・中国学科・イスパニア学科は、「英語」(リスニング含む)、「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択とする。
	「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	
『地理歴史』	「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」	【2教科の中から、いずれか1科目を選択】 ※2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に用いる。
	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	
『数学』	「数学Ⅰ」 「数学Ⅰ・数学A」 「数学Ⅱ」 「数学Ⅱ・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	【2教科の中から、いずれか1科目または2科目を選択】 (選択方法) ①から1科目 } のいずれかを選択 ②から2科目 } ③から1科目 }
	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」	
『理科』	「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	※『数学』『理科』において2科目以上受験した場合、 ①『数学』の高得点科目 ②『理科』の <u>基礎を付した科目2科目の合計点</u> ③『理科』の基礎を付さない科目 (2科目受験した場合は第1解答科目) を比較して、最も高得点のものを合否判定に用いる。

本学が指定する平成30年度大学入試センター試験の教科・科目を1科目でも受験しなかった場合、本学の個別学力検査を受験することはできません。

②後期日程【 3教科4科目 / 3教科5科目 / 4教科4科目 / 4教科5科目 】

教科	科目	受験科目数・受験科目の選択方法等
『国語』	「国語」	【必須】
『外国語』	「英語」(リスニング含む) 「ドイツ語」 「フランス語」 「中国語」 「韓国語」	【1科目】 ※英米学科・国際関係学科・第2部英米学科は、「英語」(リスニング含む)を必須科目とする。 ※ロシア学科・中国学科・イスパニア学科は、「英語」(リスニング含む)、「ドイツ語」「フランス語」「中国語」「韓国語」から1科目選択とする。
『地理歴史』	「世界史A」 「世界史B」 「日本史A」 「日本史B」 「地理A」 「地理B」	【4教科の中から、いずれか2科目または3科目を選択】 (選択方法) ①から2科目 ①から1科目及び②から2科目 } のいずれかを選択
『公民』	「現代社会」 「倫理」 「政治・経済」 「倫理、政治・経済」	※受験した科目の中で、最も高得点の科目2科目または3科目を合否判定に用いる。
『数学』	「数学I」 「数学I・数学A」 「数学II」 「数学II・数学B」 「簿記・会計」 「情報関係基礎」	『理科』において「同一名称科目」を含む3科目を受験した場合、 ①『理科』の基礎を付さない科目 ②『理科』の基礎を付した科目2科目の合計点のうちいずれか高得点のもののみ合否判定に用いる。
『理科』	「物理基礎」 「化学基礎」 「生物基礎」 「地学基礎」 「物理」 「化学」 「生物」 「地学」	この場合、『理科』以外の選択教科を最低1科目受験していなければ科目不足となる。 *「同一名称科目」とは、 ・「物理基礎」と「物理」 ・「化学基礎」と「化学」 ・「生物基礎」と「生物」 ・「地学基礎」と「地学」のことを指す。

本学が指定する平成30年度大学入試センター試験の教科・科目を1科目でも受験しなかった場合、本学の個別学力検査を受験することはできません。